

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	128	学校名	仙台市立荒井小学校	校長名	我妻 美知子
------	-----	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル、テーマ
「みんなで取り組もう SDGs！」



2 取組の紹介

地域の歴史や現在の生活環境を踏まえながら、地球全体の環境問題にも理解を広げていこうと、各教科や総合的な学習の時間に SDGs の学習に取り組んでいます。

(1) ゴミの分別活動

各学級や特別教室には、「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」古紙をリサイクルするために、「リサイクルステーション」を設置し、紙類を分けて集めて、リサイクル活動に積極的に取り組んでいます。職員室や印刷室でも、紙を分別し、リサイクルしやすいように工夫しています。



(2) 社会科

地域の特色を生かし、3年生の社会では、「農家の仕事」を選択しています。毎年 JA 仙台さんのご協力を頂きながら大豆作りに取り組んでいます。



(3) 総合的な学習

4年生では、地域の自然を守る人々の願いや工夫に触れ、荒井の自然を大切にしよう公園のごみ拾いをしました。普段目に入らないような多くのごみに気付き、地域をきれいに、大切にしようとする意識を高めています。



(4) 児童会行事

荒井小の児童会祭り「にじいろ祭り」では出店の条件に「ゴミを出さない工夫」を盛り込んでいます。準備・片付けのことを考えて計画することも SDGs の一環につながることに気付かせています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

- 低学年から継続して行っている毎日のゴミ捨てや児童会のお祭りでの取組が、環境意識を育てる場となっていて、分別の習慣や省資源の意識を誰もが無理なく身に付けることができました。また、ごみの分別収集や校内の環境整備など、毎日の活動を積み重ねていくことで、自分事として考えることができました。
- 上学年になり各教科や総合で SDGs の知識を身に付けることで生活習慣を一層見直そうという雰囲気が高まっており、下学年にも良い影響を与えています。